

【観光カリスマ概要】

1. カリスマ講師名：澤 功（澤の屋旅館館主）

「下町の外国人もてなしカリスマ」

倒れかかった東京下町の小さな旅館を、積極的に外国人旅行者を受け入れることによって再生し、さらに、外国人旅行者を受け入れることによって、下町での触れ合いに尽力している。また、全国各地で外国人旅行者の待遇方法を説明して、宿泊施設が外国人旅行者を受け入れる際に抱く危惧を払拭することに努め、外国人旅行者の受け入れ促進の啓蒙を図っている。

2. カリスマ講師名：佐藤雄二（小野川温泉「河鹿荘」代表取締役）

「『観光知』のカリスマ」

小さな温泉街「小野川温泉」を魅力あるものにするため、若手リーダーとして地域をまとめ、「夢プラン」「そぞろ歩きお休み処」「何処でも出前」をはじめ数々の新しい試みを行い、短期間で小野川温泉を「そぞろ歩きできる温泉街」として全国から注目される温泉街に成長させた。

3. カリスマ講師名：福島順二（越中八尾観光協会会長）

「伝統芸能をまちづくりに生かして一大観光資源に転化させたカリスマ」

伝統芸能「越中おわら風の盆」の技術向上と保存育成を図りつつ、町民の意識改革を進めるとともに、様々なイベントの設定などに取り組むことにより、これを本格的かつ通年的な観光資源として整備し、町の活性化と観光振興に大きく貢献した。

4. カリスマ講師名：小澤庄一（足助町観光協会会長）

「生活文化体験型観光（山里版）のカリスマ」

町並み保存運動の先頭に立ち、生活文化を伝承していくことの重要性を住民に浸透させるとともに、「三州足助屋敷」「福祉センター百年草」という二つの独立採算運営の施設を建設し、山村生活文化伝承と高齢者雇用を同時に実現させるとともに、独創的な施設を用いて生活文化体験型観光の普及に取り組み、周年型観光を実現した。

観光カリスマ講師の活動内容などの詳細は、国土交通省のホームページでご覧になれます。

URL <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanko/top.htm>